

あまから手帖2025年4月号「中津界限」を3月21日、発売致しました

2025年3月



Daigas グループのクリエテ関西が、あまから手帖 2025 年 4 月号「中津界限」を 3 月 21 日、発売いたしました。

注目が集まるエリア「中津界限」。梅田から歩いて近く、電車でもひと駅の「中津」に、期待の新店や人気店の姉妹店などが続々オープン。ビストロ、居酒屋、焼き鳥、カフェ、おやつ…など。さらには「中津商店街が美食ストリートに!」「『奥中津』に飲食店が次々と集まっている」「実は大淀中が食通に人気」など、意外な動きをキャッチした今回、阪急中津・地下鉄中津だけでなく、うめきた、中津町、豊崎、大淀、本庄までばくっと丸囲みして、「中津界限」としてみました。新店だけでなく、昔から愛される老舗、知らなかった穴場店まで、おいしい情報が満載です。

また今月は、新潟の発酵調味料「かんずり」を伝統的な製法で作る様子もレポート。真冬の雪の上に唐辛子をさらす風景の美しさに魅せられるページです。

もちろん、「あま、から。」「関西『揚げもん』研究所」「カレーは読み物」や、40 周年の節目に昔の『あまから手帖』を振り返る 1 年企画「タイムマシンにおねがい」といった個性豊かな連載陣も勢揃い。

春の気配を感じる中津界限を、『あまから手帖』4 月号片手に、てくてく散歩してみませんか。

<特集構成>

- アーケードに屋根はないけど愛はある YOUは何しに中津商店街へ？
- 極私的「梅田にキタ」の12軒。「すゑひろ」の50年。
- 中津町路地裏コーリング 本庄酒場レトロスペクティブ
- ぼつりぼつりが全部いい 大淀中の灯りに誘われて
- そこは大阪のサンセバスチャン!? 御堂筋線中津駅から徒歩5分以内のニューワールド。

- 奥中津～中津～豊崎で感じる熱い胸騒ぎ 中津甘甘新聞
- 出会いや別れの季節に和のご馳走を ちょっと贅沢な夜に。
- ひとやすみの甘い愉悅 おやつ時間。
- 気がつけば老舗と呼ばれて。この町にずっと、在る。
- ディープ&マニアックタウンで終電ギリまでハシゴ。阪急中津駅は怖くない。

<特別企画>

- 雪が育む伝統の調味料その名は「かんずり」

<連載>

- 作家・町田 康の「食にかまけず」
- 写真家・長野陽一の「あま、から」
- 料理研究家・冷水希三子の「からから料理帖」
- 編集部員が見つけた知ってほしいお話×3「甘辛通信」
- 40周年特別企画「タイムマシンにおねがい」
- マスターソムリエ・岡 昌治の「日本ワイン、ようわからん」
- フードコラムニスト・門上武司の『関西「揚げもん」研究所』
- ミルクボーイ・駒場 孝の「こまから手帖」

ほか

<媒体概要>

「あまから手帖」は関西の食文化・情報を伝える雑誌として30代後半～50代の方を中心に
ご好評いただいております。

誌名：あまから手帖 発売日：毎月23日

販売方法：書店・駅売店・コンビニエンスストア（一部）

販売地域：関西全域および全国の主要都市（一部） 価格：880円（予価）

※本誌に関するお問合せは下記までお願いできましたら幸いです。

※各種取材、メディア出演にもご対応致します。